

令和2年7月31日

生徒諸君へ

栃木県立宇都宮高等学校長

夏休み中の健康チェック等について

新型コロナ感染症の新規感染者が再び増加傾向にあるなか、夏休み中も学期中と同様に、感染対策に万全を期した生活を送る必要があります。そこで、あらためて以下の取組について確認をします。万が一の場合への備えの意味合いもあるので、高い意識を持った一人一人の対応をお願いします。

1 基本的な感染症対策について

- (1) 規則正しい生活を送り、日頃から免疫力を高める。
- (2) 登校の有無にかかわらず、毎日の健康チェックを行い、体調が優れない（発熱などの風邪の症状、強いだるさ、息苦しさ、味覚や嗅覚の障害等）場合は、自宅で休養するとともに関係機関に相談し、対応の指示を受ける。
- (3) 「密閉」「密集」「密接」を避けるとともに、手洗い等感染防止のための適切な対応をとる。
- (4) 感染症対策が徹底されていない施設への出入りを避ける。
- (5) 感染してしまった場合は、速やかに学校或いは担任に連絡する。

2 登校の際の健康状況の申告について

- (1) 2, 3年生の前期課外
昇降口の階段を上ったところに健康チェック用の名箋を用意するので、各自で朝の体温結果と健康状況を申告してから、課外教室に向かう。
- (2) 全学年の後期課外 ※日課は学期中と同じです。
8:25～ SHRの実施
1学期中と同様に健康観察シートを提出する。
8:40～ 1時間目の課外
以下省略
- (3) 課外以外の登校
 - ①部活動、生徒会活動、自修館や図書館の利用での登校では、それぞれの管理者のガイドラインにしたがって健康状況申告を行う。
 - ②教室で勉強するなどのため登校する生徒は、職員玄関に設置される「登校記録簿」に朝の体温や健康状況、利用場所をチェックしてから入校し、帰りには下校時刻を記入する。

3 その他

本県の警戒度が「感染拡大注意」の段階に上がったことにあらためて思いをいたし、一人一人が感染拡大防止に努めましょう。